

本心と抵抗

— 自発性の
精神病理

* 目次

copyrighted material

第1章 “青木まりこ現象”の意味——書店でトイレに行きたくなる理由 15

- 書店で起こる体の変調 15
- 青木まりこ現象の四仮説 16
- 科学的検証の必要性 17
- 無意識のうちに起こる歪曲 25
- まりこ現象を構成する要素 27
- 心因性の症状は急激に変化する 30
- 症状の持つ強い力 31
- 広義のまりこ現象 33
- 〈感情の演技〉という思考実験 34
- “反応”という現象 36

第2章 片づけができない、落ち着かない 41

- “プラス思考”の難しさ 41
- 片づけができない人たち 43
- “片づけられない”問題——その歴史的背景 44

- 抵抗があるために片づけができない 46
- 抵抗の結果として起こる症状 49
- “落ち着かない”ことの本質 51
- ADHDの診断基準と問題点 56
- 不十分な行動把握 60
- 静座が難しい理由 63
- 自分の意識に見せるための演技 69
- ADHDの治療例 70

第3章 締切まぎわの問題——締切近くまで課題に取り組めない理由 75

- “だらしない”状態にどう対応すべきか 75
- 現実が起こる展開 78
- 人間の心の三層構造 81
- 「楽しさ」と「うれしさ」の区別の重要性 84
- 二種類の感情を区別する 86
- 対比という興味深い現象 88
- 締切まぎわまで着手が難しい理由 94
- 最も抵抗の強い「本当にしたいこと」 97

創造活動と抵抗 99
本当にしたいことを探り出す 102
人間にとって最大級の幸福 104

第4章 心理的原因を探る 1——単発的な発症 107

心理的原因とは 107

心理的原因が共通して持つ特徴 109

単発的な原因による発症 115

事例1——行動異常 116

事例2——茫然自失状態 124

事例3——うつ状態 132

事例4——分裂病性興奮 139

第5章 心理的原因を探る 2——繰り返される症状 145

なぜ症状が繰り返されるのか 145

事例5——うつ状態 146

事例6——アトピー性皮膚炎 151

事例7——幻覚・妄想 160
事例8——腹痛と便秘 166

第6章 マリッジ・ブルーとマタニティー・ブルー 177

愛情否定という心の動き 177

本当に「ストレス」が原因なのか 179

乗り越えるべきものとしての「ストレス」 183

マリッジ・ブルー現象を追う 185

マタニティー・ブルー 195

第7章 子どもの虐待の裏側 1——子どもへの愛情の否定 207

幼児虐待が問題になるまで 207

親しさと「いじめ」の関係 213

溺愛と虐待のあいだ 214

なぜ母親が子どもを虐待するのか 219

子どもに対する愛情否定の実際 221

子どもの側の思い込み 234

第8章 子どもの虐待の裏側 2——母親に対する愛情の否定 239

心的外傷後ストレス障害 (PTSD) 仮説の問題点 239
子どもが描き出した母親による虐待 241

強迫神経症を持つ男性の場合 241

強迫症状が消失するまで 243

心理的原因の“解釈”という問題 247

母親の本当の感情なのか 250

自分が作りあげたものか 258

正当なうらみの意味 260

虐待される側の問題点 261

心理的原因と症状消失の関係 261

母親に対する逆うらみと記憶の隠蔽 267

正当な主張の難しさ 273

註 279

参考文献 287

索引